

## 2024年度脱フロン・脱炭素化の取組実績について

福岡運輸グループでは、地球温暖化防止への貢献を目的として、冷凍冷蔵機器の脱フロン・脱炭素化に積極的に取り組んでおります。環境に配慮した自然冷媒（CO2）への更新を進めるとともに、再生エネルギーの活用にも注力することで、持続可能な社会の実現を目指しています。

○ 2024年度における主な取組実績は以下の通りです。

5月：福岡運輸（福岡支店）

CO2 自然冷媒使用の冷凍冷蔵機器を導入。併せて、冷凍冷蔵倉庫屋上に太陽光パネルを設置し、設備の一部電力を再生エネルギーで賄う体制を構築

7月：福岡運輸（関東チルド配送センター）

冷凍冷蔵機器をフロンガス使用から CO2 自然冷媒使用へ更新

2月：福岡運輸（船橋営業所、北九州営業所）

冷凍冷蔵機器をフロンガス使用から CO2 自然冷媒使用へ更新

今後も、自然冷媒の導入拡大や再生エネルギーの活用を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

○ 過去の取組実績

2023年度

1月：オー・ケー・ライン（本社）

冷凍冷蔵機器をフロンガス使用から CO2 自然冷媒使用へ更新

2022年度

5月：ナガサキロジスティクス（本社）

CO2 自然冷媒使用の冷凍冷蔵機器を導入。併せて、冷凍冷蔵倉庫屋上に太陽光  
パネルを設置し、設備の一部電力を再生エネルギーで賄う体制を構築

2021年度

2月：福岡運輸（大阪茨木配送センター）

CO2 自然冷媒使用の冷凍冷蔵機器を導入。併せて、冷凍冷蔵倉庫屋上に太陽光  
パネルを設置し、設備の一部電力を再生エネルギーで賄う体制を構築

2025年4月23日

株式会社福岡運輸ホールディングス

代表取締役社長 富永 泰輔